

三宅島の災害復旧



平成 15 年 10 月

東京都災害対策本部

<空栗橋の被災から復旧まで>

被災前



被災状況
(平成12年10月)



仮橋供用開始(平成13年9月)



復旧工事状況(平成15年9月)



完成予想図(平成15年度末)

都道の被災箇所16箇所については、平成14年度までに8箇所の本復旧が完了しました。現在、泥流による被害が特に甚大であった空栗橋など7箇所において再度被災を受けないよう新たに橋を架ける工事を行っています。また、伊ヶ谷港線においては、道路の拡幅・線形改良を併せた復旧工事を進めています。今後は、これら8箇所について、全力で復旧工事を進め、平成15年度末の完了を目指します。

<雄山線(全景)>

被災状況



復旧状況

村道では、主として14路線で被害がありましたが、雄山線・火の山線等、12路線の復旧を完了しました。今後は、他の事業に併せて復旧を行うとともに、維持管理や安全施設等の整備を進めていきます。

林道の被災箇所は60箇所余りです。特に、雄山環状線林道は30箇所余りが泥流により寸断されています。今後、順次復旧工事を進めていきます。



林道土佐線の被害状況



施工後

住宅

帰島に向けた住宅復旧対策

帰島後に向けて、泥流等により被災した住宅への対応を積極的に行っていきます。
 なお、現在、家財等の保全のため、島内住宅の屋根の応急修繕を支援しています。

自力再建を
される方へ



泥流等による被災住宅

住宅に困窮し
自力再建が
困難な方へ



屋根の修繕工事

イメージ図



利子補助等の支援をします

イメージ図



村営住宅を補修および建設します



修繕完了後

港湾

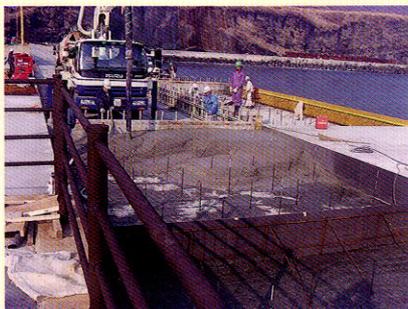
港湾・漁港施設の機能回復と避難岸壁の整備

<三池港大型定期船岸壁の被災から復旧まで>

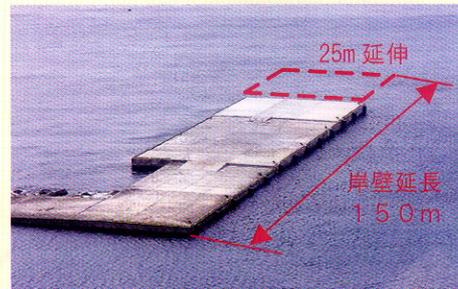


通常波浪による岸壁の冠水状況

かさ
高上げ工事状況



<伊ヶ谷漁港避難岸壁の整備>



かさ
高上げ完了後の岸壁



地殻変動に伴う沈下により港湾・漁港施設が波をかぶりやすくなったため、災害復旧の活動拠点となる三池港及び阿古漁港の大型定期船岸壁のかさ高上げを実施しました。また、三池港・伊ヶ谷漁港においては岸壁の延伸を行い三池港は岸壁延長150mが完成しました。今後は、伊ヶ谷漁港の大型定期船避難岸壁を25m延伸し、16年度に岸壁延長150mを完成させ、坪田漁港や伊ヶ谷漁港の沈下施設のかさ高上げ等の復旧作業を進めていく予定です。

水道

安定給水に向けての水道施設の復旧・整備

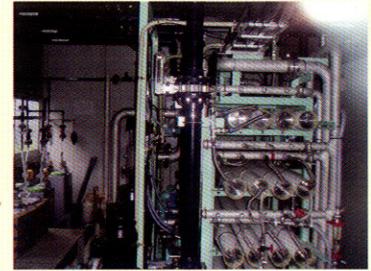
水道では、管路や設備機器等、67箇所が被害がありました。現在、仮復旧などにより島内に給水するとともに道路復旧工事に併せて送水管路の復旧を進めており、15年度中の復旧を目指しています。また、大路水源の水質変化に対応するため膜ろ過処理を一部導入、今後、大路水源全体を整備する予定です。



阿古地区水道管復旧状況



ようが沢の吊り橋式復旧状況



導入した膜ろ過施設(臨時給水用)

電気

三宅島復旧に向けた電気供給力の確保

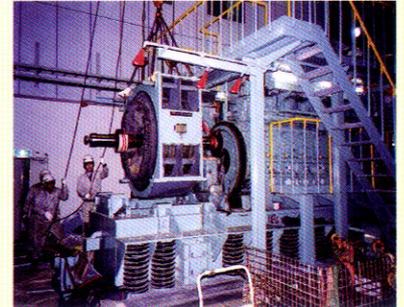
電力供給設備の仮復旧を行うとともに、発電所出力合計5,500kwの確保を完了し、復旧作業等に必要施設への供給と、作業に支障となる設備の移設工事に協力しています。今後は被害を受けた設備の取替作業等、本格復旧作業を全力で進めていきます。



配電設備復旧状況
〔三七山付近高圧線張り替え工事〕



配電設備復旧状況
〔阿古地区引き込み線改修工事〕



三宅島発電所
〔7号機(1,000kw)発電機分解点検作業〕

通信

通信の生命線を守る

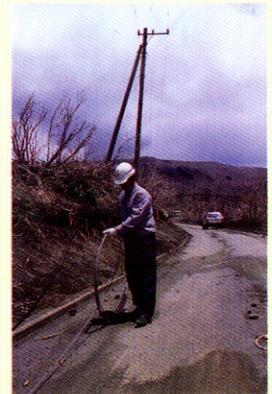
「災害用伝言ダイヤル」の運用をはじめ、通信サービス確保のため、さまざまな取り組みを行ってきました。熟練した技術者を交代で派遣し、ライフラインの維持と復興に伴う工事や調査、そして保守を行なっています。



島内の基幹通信ケーブルを
点検・補修



住宅の通信設備をチェック



雄山火口付近で、通信ケーブルを補修

